

中西条浄水場施設見学案内業務詳細

■小学校等（概ね4年生）の団体の場合

- ・ 1クラスにつき案内担当者1名を派遣し、案内業務を実施する。
- ・ 1クラスは、最大30人程度の児童と1～2人の教諭である。
- ・ 1日最大2回(午前中1回 {9時30分から11時30分まで}と午後1回 {13時30分から15時30分まで})、1回当たりの業務時間は120分以内とする。

■一般団体(中学生、高校生及び大学生等の団体を含む)の場合

- ・ 1団体に案内担当者1名を派遣し、案内業務を実施する。
- ・ 1団体の人数は10人以上としている。
- ・ 1回当たりの業務時間は、120分以内とする。

①見学開始15分前までに中西条浄水場へ到着を済ませ、事務室へ案内担当者全員が揃った旨の報告を行い、当日のスケジュール及び注意点を確認する。

②見学開始10分前までに見学者のバス駐車場に待機し、出迎えの準備をする。
なお、浄水処理実験の実施に必要な準備と片付けは発注者が行うものとする。

〈バス到着〉

③見学者に対し、バス駐車場から見学室までの案内、誘導を行う。
・見学室は土足厳禁のため、下足箱を利用するよう促す。

〈浄水場職員による見学説明開始〉

④浄水場職員がビーカーを使った実験をする際、フロックの出来上がったビーカーを実験が見えにくい場所にいる見学者の付近へ持って行く等、説明者の補助を行う。

〈前半の説明が終了〉

⑤各クラスに別れて、浄水場内の施設案内を行う。

見学者からの質問に対しては、発注者が配布する中西条浄水場案内手引きで対応すること。なお即答できない場合は、相手に改めて回答する旨を伝え、発注者に質問内容をすみやかに伝え、指示を受ける。

【通常の見学ルート】

(見学室) ⇒ 水質計器室 ⇒ 送水ポンプ棟 ⇒ 浄水池 ⇒ 次亜注入設備棟 ⇒
高架水槽 ⇒ 着水井 ⇒ フロック形成池 ⇒ 沈澱池 ⇒ ろ過池
⇒ (見学室)

《留意事項》

- ・見学室を出る際、筆記用具などは一切持たせないようにすること。
- ・各施設の説明については、別紙6「施設概要説明 参考資料」を参考にすること。参考資料は事前によく学習し、説明は見学者の顔を見て行うようにすること。
- ・沈澱池等のまわりに設けられた安全柵に足をかけるなど、見学者が怪我につながる行動をとったときは、すぐに注意をし、安全の確保に努めること。
- ・見学室を出てから、およそ25分を目途に帰ってくるようにすること。
- ・見学室を出る前の待ち時間、もしくは見学室に帰ってきた後、全クラスが集合するまでの待ち時間を利用して、「施設見学のしおり」に記念のスタンプを押すように促す。
(時間の関係上、1人1か所のみとする)

〈 全クラス集合完了・後半の説明を開始 〉

〈 質疑応答・見学者解散 〉

⑥バス駐車場に移動し、見学者のバスの見送りを行う。

⑦見学室に戻り、後片付けを手伝う。

⑧別紙7「見学者案内業務実施記録」に業務実施状況を記入し、浄水場職員の確認を受けた後、退所。